

**【施策評価調査】**

施策名	5-4-1	住民参画による文化イベントの運営		122	高根沢町の文化・芸術を振興、発展に向け、文化活動参加機会の充実、優れた文化芸術鑑賞機会の提供、伝統芸能指導体制の強化などに積極的に取り組みます。 その方法として、住民が主体性を発揮し、住民参画によるイベントを行うことにより、町民相互の触れ合いと、文化・芸術を身近に感じられる町づくりにつながり、町の活性化を図ることにつなげていきます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部生涯学習課	担当	社会教育担当		
		リーダー	横塚恵子		
環境変化	特になし				自主的に開催する文化・芸術団体を育成するとともに、住民参画による文化イベントの充実を図ります。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：町民ホール利用率(%)	平成16年度 52%	計画	54%	55%	56%	58%	60%
		実績	52.29%	61%	78%		
指標：町民ホール自主事業の参加人数【新規指標】	平成18年度 3,689人	計画		2,000人	2,500人	2,700人	2,800人
		実績		2,364人	2,938人		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	町民ホール利用日数 283日						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	5,574,000	5,881,000	6,079,000		
	決算	4,427,446	5,205,722	5,183,099		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)	
住民参画による文化イベント事業費	当初 408,000	文化イベント参加者数	A	住民が積極的に参画することで、参画者相互のふれあう場の提供ができた。また文化・芸術を身近に感ずるとともに、豊かな心を育むことができた。	
	決算 92,568	1,889人 / 2000人			今後の方向性(自己評価)
町民ホール自主事業運営委員会による文化イベント事業費	当初 4,671,000	町民ホール自主事業入場者数	A	20年度は町政50周年という節目に当たることから、数々のイベントを企画し実施した。町民ホール入場者数も目標以上に達成することができた。特に宝くじ文化公演の「クレミ・ミラ・オーケストラ」や高根沢町出身の「菅野祐悟コンサート」では、町民に感動と音楽のすばらしさを伝えることができ、高い評価が得られた。	
	決算 4,090,531	2,938人 / 2300人			今後の方向性(自己評価)
文化祭開催事業交付金	当初 1,000,000	作品展示・発表者数	A	21年度からは町産業課において予算を一括計上していく。	
	決算 1,000,000	1,697人 / 1500人			今後の方向性(自己評価)

**施策事後評価 20年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	計画どおり達成できたものと評価する。 町民ホール事業は、運営委員会の積極的な活動により幅広いジャンルで企画し、文化芸術の普及に努めた。町民の意識も変化してきたことは大きな成果と言える。 住民参画による文化イベント事業費は、町の町民ホール事業に組み込み1本化し、事業を推進していく。 文化祭開催事業交付金については、次年度より産業課において統括し、施策事業として調整する。	町民ホール自主事業運営委員会においては、住民のニーズも捉えながら、自主的な企画運営と自由な発想を期待し、広く町民に文化芸術を提供していく。 なお、町内の団体・グループがフルに活用してもらえるよう、住民参画の活性化を図っていく。
総合評価	積極的に施策展開されていると評価する。 後期計画策定に向け、住民が行うこと、町が行うこととの役割分担を行い、運営に関しても、ルールづくりを行うなど、施策展開の調整・検討を行うこと。	